

提出していただいた意見とそれに対する市の考え

<豊明市地域公共交通網形成計画(案)>

NO.	意見等の概要	件数	豊明市の考え・対応
1	別紙のとおり	1	<p>この度は、貴重なご提案をいただきありがとうございました。いただいた2つのご意見は、豊明市の公共交通を考えるうえでとても重要なことと認識しております。</p> <p>1については、前後駅周辺の渋滞は、利用しやすい公共交通、住みやすいまちづくりを目指すうえで、大きな課題として認識しております。ご指摘いただいたご意見につきましては、本計画の「基本方針3」及び「公共交通の利用促進策」へ反映させていただくとともに、計画策定後に、関係機関との調整を図りながら環境整備に努めたいと考えます。</p> <p>2については、広域公共交通ネットワークの形成に関して、「基本方針2」内に記載をさせていただいておりますが、愛知県が作成した「あいち公共交通ビジョン」内にも、ご意見いただいたような尾三地区(豊明市、東郷町、みよし市、日進市、長久手市)の広域公共交通網形成に関する記載があり、今年度から、県主導のもと5市町が連携しながら路線検討に動き出したことも踏まえ、同内容を「基本方針2」へ追記させていただきます。また、今後の広域路線の形成に向けた取組を進める際には、いただいたご意見を参考とさせていただきたいと考えます。</p>

意見等の概要

豊明市地域公共交通網形成計画に関しまして、いくつか提案をさせていただけたらと思います。

まず、アンケートを含めた今回のデータ収集、解析は、問題解決にとってとても重要かつ有用な手段であると思います。他の案件についても活用していただけたらと思います。

1. 現在、他の都市間との公共移動手段としては、名鉄の各駅が中心的な役割を果たしていると思います。前後駅はその中核と言えると思います。私は、市内でのバス利用がいまひとつ伸びない原因の一つに、前後駅周辺の、特に朝のラッシュ時の渋滞があるのではと考えています。渋滞によって、駅までの到着時間がかかるため、到着時間が読みにくいことがあるのではと推察します。このことは結果として、居住地としての魅力を削ぐことになっているような気がします。

さらに、桜ヶ丘沓掛線が前後駅の南側で大府方面に開通することによって、交通量が増加し、渋滞に拍車がかかるのではと懸念しております。

これらのことを解決するために、名古屋市内で一部導入されているような、7時から9時までといった時間制のバス専用レーンを、前後駅周辺に導入することを計画してみてもいいと思います。例えば、現状では島川バス停から前後駅までの間で、バス専用レーンが設定できれば、駅への到着時間がかなり短縮されるのではと考えます。それとともに、パルネスの北側の旧国道を思い切って部分的に一方通行にするなどして、前後駅周辺の自家用車の動きをスムーズにし、渋滞緩和を計ってはと考えます。

同様の理由で、中京競馬場前駅の路線の南側にバスターミナルを作って、大脇線から国道1号線を走ることなく、そのままバスターミナルに入れるような構造が作れば、名鉄線の南側のバス路線が充実するのではと思います。

また、可能かどうか分かりませんが、国道1号線の池下交差点(県道57号線の高架下)と、旧国道1号線の間、市の防水倉庫があるかと思いますが、これを移転したうえで、跡地をバス専用レーンとして活用し、県道57号を南下してきたバスが、池下交差点で右折した直後に、このバス専用レーンを通して、旧国道に入り、前後駅に向かわせることができれば、国道1号の渋滞に影響されることなく、バスが運行できるのではないかと考えたりもします。

2. 広域幹線についての提案です。豊明市は名古屋市を中心とした中京地区の経済圏の一員になっていると思います。中京地区の公共交通網を考えた時、新幹線の名古屋駅を中心に、名鉄各線、JR各線、近鉄、名古屋市営地下鉄が放射状に伸び、各市町村を結んで機能しているといった大まかな構造があると思います。近年になって、これら放射状に伸びた各線を繋ぐ環状線の整備がされてきています。最近では名古屋市営地下鉄名城線の本山－新瑞橋間が完成し、環状となったことで、名古屋市営地下鉄全体の利用者が増えたといった事例があると思います。おそらく、放射状に伸びた各線を繋ぐ路線には、それなりに潜在的な需要があるのではと推察しますが、名城線より外側の現状はというと、愛知環状鉄道の高蔵寺－岡崎間と、かなり遠方にしか路線がありません。豊明市はちょうどその中間に当たりますので、もしこれらを繋ぐ路線ができれば需要はあるのではと推察します。ただ、新規の鉄道を施設するのはハードルが高いため、名古屋市の基幹バスのような、バス停の間隔を長くして、主なバス停のみに停車する急行バスを走らせてはと思います。具体的には、前後駅から、豊明市役所の前を通過して、県道57号を北上し、日進駅、岩崎を通過して、リニモの長久手古戦場駅、可能であれば名鉄瀬戸線の尾

張旭駅までは走らせてはどうかと思います。豊明市がこのような比較的広域の交通の拠点となることができれば、居住地としての価値も上昇するのではないかと考えます。

県道 57 号沿いには、各自治体の市役所が集まっている事に加え、愛知学院大学、名古屋外国語大学、愛知医科大学などの大学も多くあることから、潜在的な需要は見込めるのではないかと思います。先日、愛知医科大学から豊明市内の自宅まで、交通機関で帰宅したことがありましたが、たっぷり2時間近く時間がかかってしまいました。自家用車であれば1時間はかからない距離かと思いますが、自家用車のみでしか移動できないことは交通弱者にとっては困難な状況であると言わざるを得ないかと思えます。

同様に、需要の見込める路線としては、地下鉄徳重駅から愛知教育大学へ、名古屋岡崎線を通る路線を検討してはと思います。途中で豊明高校があることもあり、安定した需要が見込めるのではと思います。